
REDDプラスへの取組動向

- コンゴ民主共和国 Country Report -





森林の概況

- コンゴ民主共和国は世界第2位の熱帯林保有国であり(62%)、REDDプラスの高い潜在性を有する。初期のコンゴ民主共和国における国家プログラムにおいて、国家REDDプラス戦略がUN-REDDプログラム政策委員会に承認された後、国家プログラム文書は2010年10月に署名、UN-REDDプログラムの公式発足とともに、支援資金が同年11月に配分された。
- 国家プログラムの初期段階である政策計画から成果主義へと移行しつつあり、REDD研究や、REDDプラスパイロットプロジェクトの試行、研修、地域レベルでのナレッジシェアリング、国内コンサルテーションプロセスの完了、国内初のREDDプラスカリキュラムの開講などが行われている。
- REDDプラスフェーズ1(準備段階完了)に向けて進捗中(2012年末完了予定)。

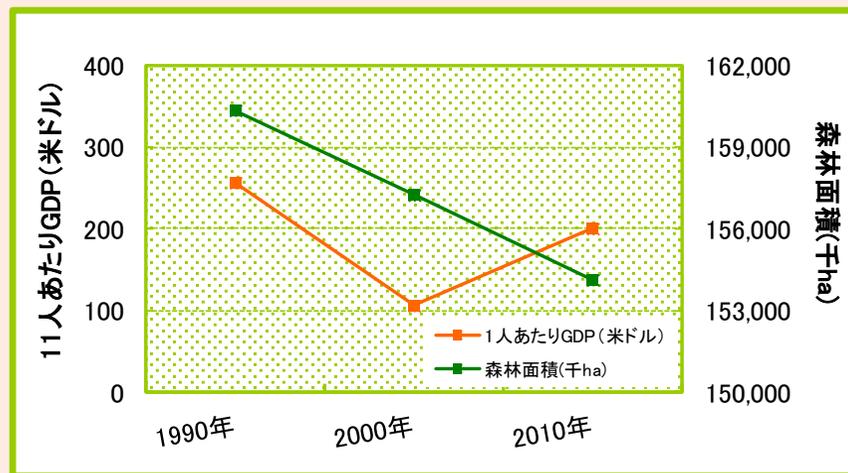


経年変化(FAOデータ)

【表7-1 コンゴ民主共和国の概況】

(出典: FAO, 2011; UN data)

	1990年	2000年	2010年
人口(中位推計)(千人)	36,406	49,626	65,966
GDP(百万米ドル)	9,350	4,306	13,145
1人あたりGDP(米ドル/人)	257	106	201
GDP成長率(%)	-6.6	-6.9	7.2
国土面積(千ha)	234,486	234,486	234,486
森林面積(千ha)	160,363	157,249	154,135
年平均森林減少面積(千ha/年)	-	311	311
Primary Forest(千ha)	-	-	-
Other naturally regenerated forest(千ha)	-	-	-
Planted Forest(千ha)	56	57	59
Carbon stock in living forest biomass(百万トン)	20,433	20,036	19,639



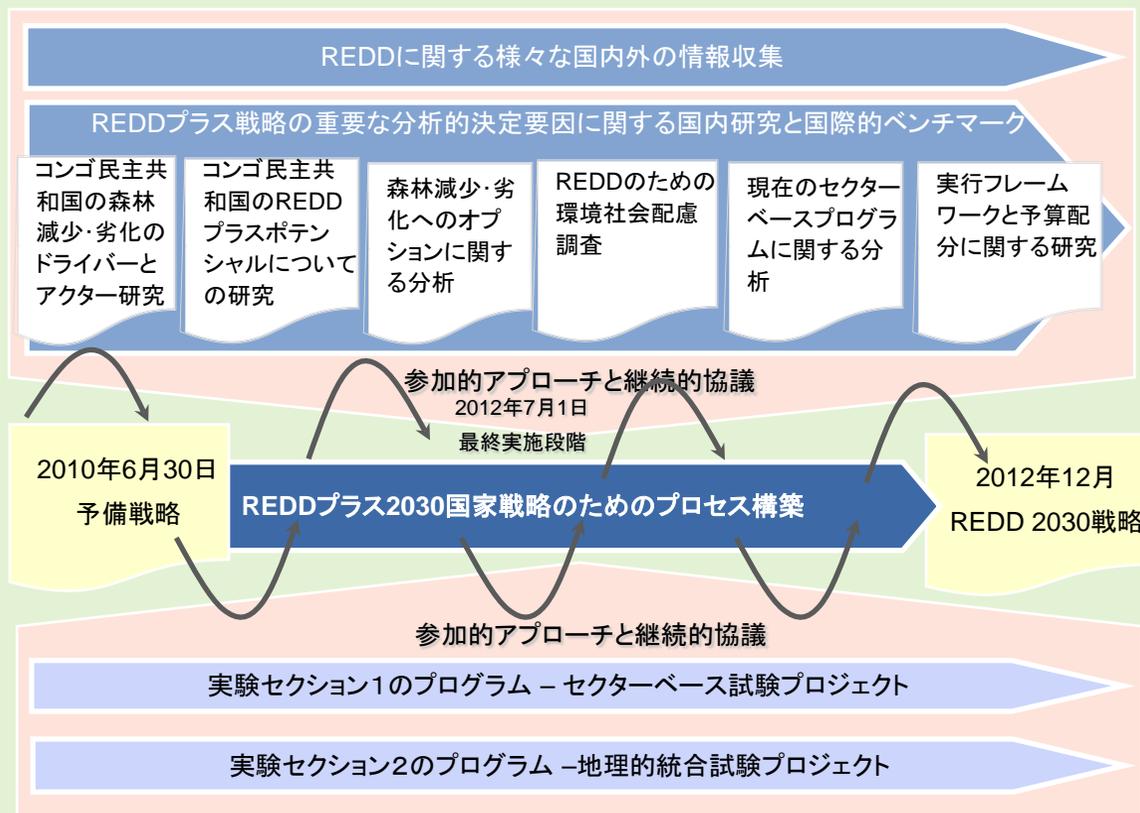
【図7-1 コンゴ民主共和国の1人あたりGDPと森林面積(1990~2010年)】

今後の森林計画

- 2012年末までにREDDフェーズ1(準備段階)完了を目指し、2015年末までをフェーズ2(試行段階)、2016年以降をフェーズ3(完全実施段階)としたい考えである。

REDDプラスへの取組状況

- コンゴ民主共和国は、2009年11月の首相令により、国家レベルでのREDD準備のための委員会を設立し、REDDに関する政策決定や計画、調整等を行っている。
- 世界銀行の森林炭素パートナーシップ (Forest Carbon Partnership Facility: FCPF) に提出したReadiness Programme Idea Note (R-PIN) において、2012年までに達成すべき目標として、以下が挙げられている。
 - 各県にREDDコーディネーターを1名配置
 - 国レベル、県レベル、現地レベルでの市民社会の参加を促し、市民社会によるREDD Climate Work Groupとしての活動のためのキャパシティ・ビルディングを行う
 - REDD Climate Work Groupやその他の市民社会団体が参画した独立選挙委員会 (The Independent Electoral Commission: IEC) や県レベルでのコンサルテーション計画を策定する
 - REDDに関する研究、モニタリング、試験的な試みを実施しながら、REDD行動計画を通じた国家合意戦略を作成する
- 2010年にはFCPFへのReadiness Preparation Proposal (R-PP) が承認され、UN-REDDから5.5百万米ドル、FCPFが3.4百万米ドルの資金拠出を承認した。
- 2011年、国家森林モニタリングシステムを公式に立ち上げる。



【図7-2 コンゴ民主共和国のREDDプラス2030国家戦略に向けての構築プロセス】

REDDプラスへの取組状況

【表7-2 コンゴ民主共和国におけるR-PP成果フレームワーク】

期待される結果	主たるパートナー	進行状況とパフォーマンス指数
1 2030年国家REDDプラス戦略が、参加型方式で策定され、実行する準備が可能となっていること	国家委員会、省庁間委員会、National Coordination for REDD (CN-REDD)、Climate and REDD Working Group from Civil Society (GTCR)、United Nations Development Programme (UNDP)、世界銀行、国際連合食糧農業機関 (Food and Agriculture Organization: FAO)	<ul style="list-style-type: none"> REDDの幅広い関係者のミーティングポイントとなるような、質が高く、目標値の高い国家REDDプラス戦略 決定ツール(参照シナリオ等)、及び戦略的環境アセスメント(Strategic Environmental Assessment: SEA)に依拠した戦略 現実的、マルチセクター対応かつ予算が配分されたREDDのための投資計画
2 REDD実行のための制度的枠組が暫定的に作成され、2013年からの開始に向けて準備が可能となっていること	国家委員会、Ministry of Environment, Conservation of Nature and Tourism (MECNT)、CN-REDD、世界銀行、United Nations Environment Programme (UNEP)、UNDP	<ul style="list-style-type: none"> カーボン・プロジェクト及びイニシアチブの登録が機能していること カーボンファイナンスマネージメントのための暫定的な国家ファンド・メカニズムが整備されていること 環境社会アセスメントの手続きが整備されていること
3 REDDのための包括的なMRVシステムの構築と運用	Directorate of Forest Inventory and Planning (DIAF)、CN-REDD、FAO、世界銀行、UNEP	<ul style="list-style-type: none"> GHG排出権(森林減少/劣化)のための測定・報告・検証(Measurement, Reporting, Verification: MRV)システムが国レベルで運用・管理可能であること 社会・環境的コントロール及び経済的なMRVシステムが整っていること デュアルMRVシステムがREDDの関係者に採用されていること

- コンゴ民主共和国におけるR-PPの予算のほとんどは、右図のとおり、外部の援助資金によって構成されている。

【表7-3 コンゴ民主共和国におけるR-PP予算の概要】

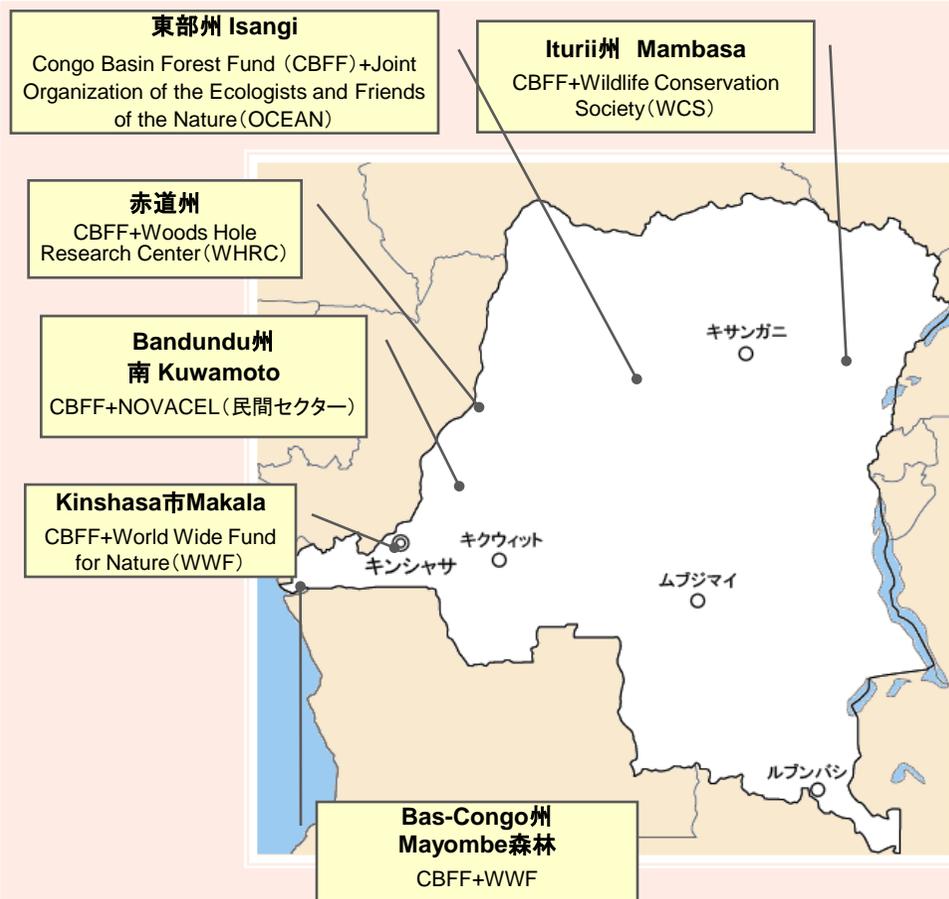
(単位:米ドル)

R-PPのため予算(A)	22,717
コンゴ民主共和国の予算合計(B)	1,827
現在実施中のUN-REDD/FCPF	1,227
国際熱帯木材機関(International Tropical Timber Organization: ITTO)/REDD	600
上記予算(A)のうち外部資金で賄われる費用(A-B) = F + G	20,890
UN-REDDとFCPFへの資金要請(D + E) = F	8,900
世界銀行FCPFへ資金要請(D)	3,400
UN-REDDへの資金要請(E)	5,500
うちUNDP	2,185
うちFAO	2,343
うちUNEP	972
協調融資(Congo Basin Forest Fund 及び他の二国間ドナーからの財政支援)(G)	11,990

REDDプラスに関する主だった取組

- | | |
|-------|---|
| 2008年 | <ul style="list-style-type: none"> REDD R-PINをFCPFに提出 |
| 2009年 | <ul style="list-style-type: none"> 1月、UN-REDD/FCPF 及びパートナーと初のジョイントミッションを開催 5月、UN-REDDより資金援助(1.8百万米ドル)の供与実施 8月、首都Kinshasaにてナショナルプロセスのキックオフワークショップ開催、続いて9月から2010年2月にかけて5つの州(Kisangani, Bukavu, Matadi, Mbandaka, Lubumbashi)にてREDD関連のワークショップ開催 11月、REDDナショナルコーディネーションを官庁化し、REDDプラス委員会を設立することを定めたREDD首相令(A decree by the Prime Minister N° 09/41)の発令 |
| 2010年 | <ul style="list-style-type: none"> 1~2月、FCPFへ提出したReadiness Preparation Proposal (R-PP)の決定及び国家認証 3月、UN-REDDがコンゴ民主共和国への5.5百万米ドルの資金拠出を承認 3月、UN-REDD及びFCPF参加委員会のためのR-PPのプレゼンテーション、準備プロセス(Readiness Process)のための8.9百万米ドルの追加的資金投入決定 6月、世界銀行のForest Investment Program (FIP)に選定される(支援資金65百万米ドル) 8月、Kinshasaで初の大学でのREDD講義開講 |
| 2011年 | <ul style="list-style-type: none"> 6月、国際連合の気候変動関連会議において、国家森林モニタリングシステムの新規立ち上げについてプレゼンテーションを実施 10月、REDDプラスのハイレベルイベントがKinshasaにて開催(ノルウェー、UNEP、UN-REDD事務局の支援による) 12月、COP17サイドイベントにおいて、コンゴ民主共和国が国家森林モニタリングシステムの公式立ち上げ |

REDDプラスへの取組 (Demonstration Activity)



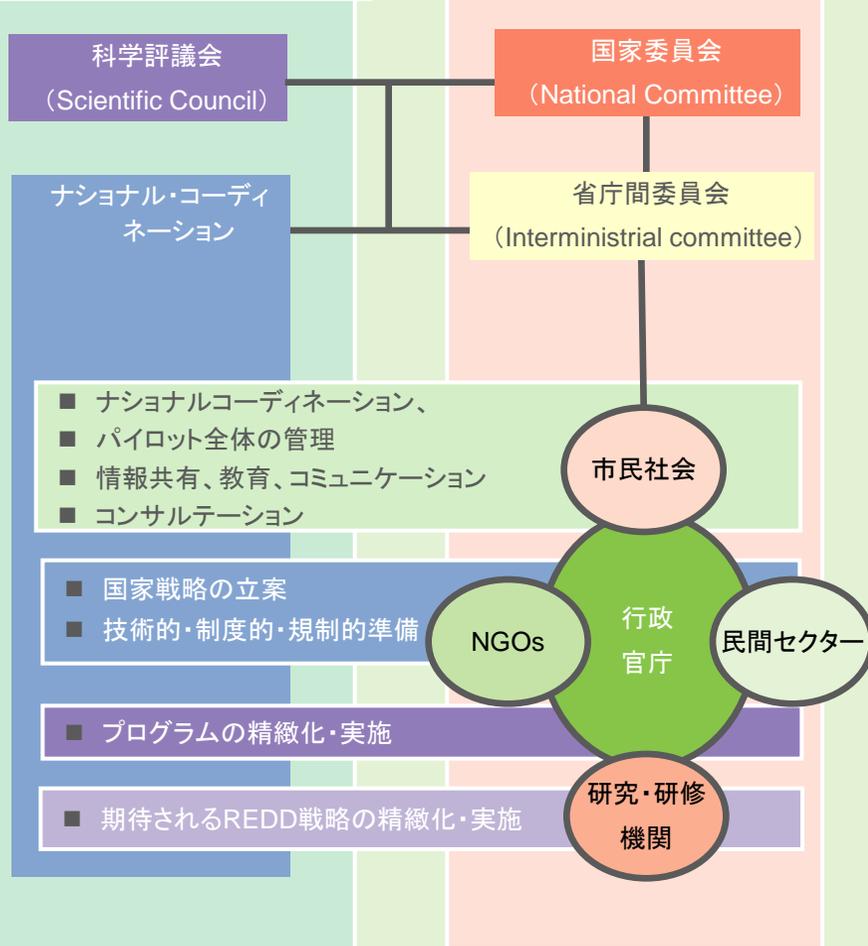
【図7-3 コンゴ民主共和国における主だったREDDプラス関連事業実施状況】



REDDプラス実施体制

アドバイザー・調整機関

政策・意思決定・計画機関



【図7-4 コンゴ民主共和国におけるREDDプラス実施体制】

REDDプラスに関する省庁及びその役割

【表7-4 コンゴ民主共和国のREDDプラス関係省庁及びその役割】

組織名	REDDプラス実施の際に想定される役割
Ministry of Environment, Conservation of Nature and Tourism (MECNT)	■クリーン開発メカニズム (Clean Development Mechanism: CDM) の指定国家機関 (Designated National Authority: DNA)、REDDプラス政策・戦略の立案
農業省 (Ministry of Agriculture: MOA)	■農業、農村分野からの視点によるREDDプラス政策へのインプット
エネルギー省 (Ministry of Energy: MOE)	■国民の80%が森林由来を含むバイオマスエネルギーに依存するため、エネルギー保全との観点からのREDDプラス政策へのインプット
Ministry of Mines	■銅・コバルトの世界的産地である森林地帯の資源開発と森林保全の調整
Ministry of Infrastructures, Civil Engineering / BEAU	■道路等のインフラ設備と森林保全との調整
Ministry of Land Tenure Affairs	■鉱物開発、インフラ開発、農業開発等と森林保全との調整
Ministry of Plan	■REDDプラス政策・戦略と国家計画との整合性・調整等
Ministry of Interior and Decentralization	■地方分権と森林保全の観点からのREDDプラス政策へのインプット
Ministry of Rural Development	■農村開発、農民の生活保護の視点によるインプット
財務省 (Ministry of Finance: MOF)	■各種ドナーからの援助資金等に関わる調整

Demonstration Activityの実施状況

- 英国とノルウェーが共同で2008年から運営を開始したCBFFを原資に、様々な機関がREDDプラスプロジェクトが実施されてきた。
- FCPFの支援を受け、REDD支援のプロジェクトが実施されている。

【表7-5 コンゴ民主共和国におけるDemonstration Activity実施及び資金支援の状況】

支援タイプ1	支援タイプ2	主だったドナー	実施場所	取組の概要
資金支援	マルチ支援	英国及びノルウェー+実施者 CBFF	東部州 Isangi	■ Joint Organization of the Ecologists and Friends of the Nature (OCEAN)による「Isangi統合REDDパイロットプロジェクト」(予算規模: 2,490千ユーロ、3年間)
資金支援	マルチ支援	同上	Makala市 Makala Ituri 州 Mambasa	■ WWFによる「EcoMakala+ : 地理的統合REDDパイロットプロジェクト」(予算規模: 2,490千ユーロ、3年間) ■ WCSによる同上名プロジェクト(予算規模: 2,980千ユーロ、3年間)
資金支援	マルチ支援	同上	赤道州	■ WHRCによる「REDD枠組みにおける市民社会と政府の能力強化」プロジェクト(予算規模: 3,210千ユーロ、3年間)
資金支援	マルチ支援	同上	Bandundu州南 Kuwamoto	■ NOVACEL(民間セクター)による「南Kuwamoto森林農業REDDパイロットプロジェクト」(予算規模: 2,500千ユーロ、3年間)
資金支援	マルチ支援	同上	Bas-Congo州 Mayombe森林	■ WWFによる「Mayombe森林のLuki生物圏保護区におけるREDD統合パイロットプロジェクト」(予算規模: 2,330千ユーロ、3年間)
資金支援	マルチ支援	同上	-	■ 森林コミュニティ実施支援プロジェクト(予算規模: 7.6百万ユーロ、3年間)

日本の支援状況

- 無償資金協力による森林保全計画(10億円)により、森林減少の抑制や温室効果ガス(Greenhouse Gas: GHG)の排出量削減の支援を実施(2010年)
- 無償資金協力による「コンゴ盆地における持続可能な熱帯雨林経営と生物多様性保全のための能力強化計画(ITTO)連携」(2.78億円: カメルーン、コンゴ共和国、コンゴ民主共和国及び中央アフリカに対する合計額)による森林保全分野でのキャパシティビルディング支援の実施(2011年)
- 中央アフリカ森林協議会(Central Africa Forests Commission: COMIFAC)へ森林専門家を派遣、コンゴ盆地におけるREDDプラスを含む森林支援の実施(ただしカメルーンへの派遣)(2011年)

UNFCCCへの関与情報

【表7-6 UNFCCCでの取組状況】

実施事項	実施状況
国連気候変動枠組条約	署名:1992年6月11日、批准:1995年1月9日
京都議定書	署名:なし、批准:2005年3月23日
DNA担当組織	環境自然保護観光省 (Ministère de l'Environnement, Conservation de la Nature et Tourisme)
第1次国別報告書	2000年11月21日に提出
第2次国別報告書	2009年11月28日に提出

UNFCCCへ提出している森林情報

【表7-7 A/R CDMのための森林定義】

項目	値
最小面積	最小0.5ha
樹冠率	最低30%
樹高	最低5m

【表7-8 A/R CDMの対象森林】

項目	A/R CDMの対象状況
ゴム林	(記載なし)
竹林	(記載なし)
オイルパーム	(記載なし)

その他の特徴的な地球温暖化対策

- REDDプラスの講座を大学に開設し、幅広い関係者へのナレッジシェアに注力する他、民間セクターとの共同による森林支援にも力を入れている。
- 2006年の貧困削減・成長戦略文書(The DRC's Poverty Reduction and Growth Strategy Paper: DSRP)においても、森林保全の強化が明示されている。

出典(参考資料)

- Ministry of Environment, Nature Conservation and Tourism (2010) REDD+ Process in DRC: Overview of Current Developments. Dec. 8th, 2010, Cancun
- FCPF Webサイト
- UNFCCC Webサイト
- JICA Webサイト
- IGES Webサイト
- CBFF Webサイト
- UN-REDD Webサイト